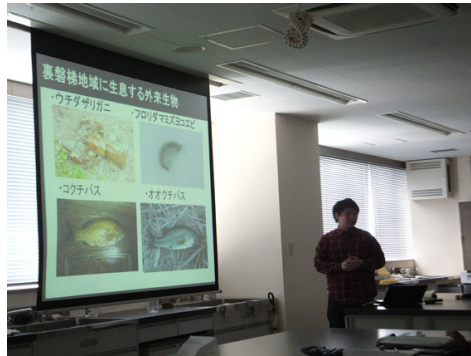


# 環境システムマネジメント専攻生物系研究室卒業研究発表会

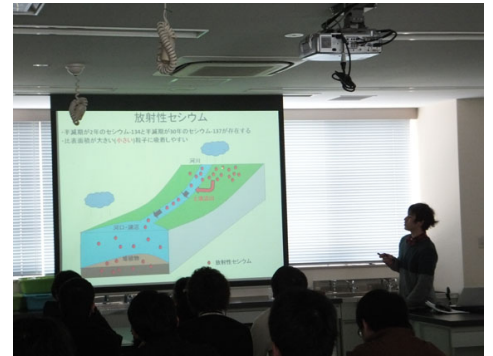
2015年2月20日(金)に環境システムマネジメント専攻生物系研究室の卒業研究発表会が研究実験棟7Fの生態学実験室にて開催されました。磐梯朝日遷移プロジェクトと関連する研究成果を発表した7名の学生の様子を紹介します。



**武田悠太(塘研)**  
「強酸性河川酸川における底生動物相及び食物網解析」



**難波元生(塘研)**  
「福島県裏磐梯地域を流れる長瀬川における底生動物相とウチダザリガニを中心とした食物網解析」



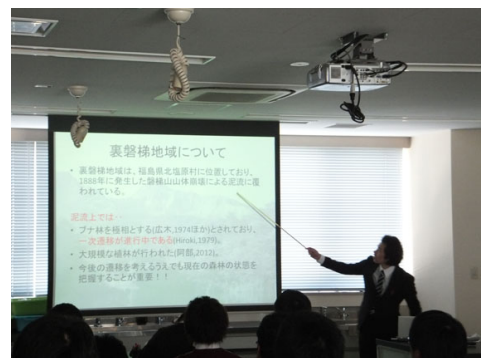
**末永友佑(難波研)**  
「河川・湖沼堆積物中の放射性セシウム濃度から推定される沈着後の動態」



**山田恭央(難波研)**  
「桧原湖および沼沢湖における季節的なプランクトン群集の変化」



**齋藤紘輝(難波研)**  
「河川水中に存在する抗生物質耐性大腸菌群」



**石川和希(木村研)**  
「裏磐梯, 1888年泥流上の森林遷移」



**遠藤優年(黒沢研)**  
「裏磐梯桧原湖東部の非植林地帯における泥流上の植物相」

7名の学生たちは卒業研究で膨大なデータを蓄積してくれましたが、そのすべてを発表する時間は残念ながらありませんでした。武田君は酸川の底生動物相を、難波君はウチダザリガニと関わる食物網解析の結果を、山田君は沼沢湖のヒメマスの餌資源となるプランクトンをそれぞれ中心に発表しました。末長君、山田君は裏磐梯の桧原湖をフィールドに、齋藤君は桧原湖北部流入河川をフィールドにした研究でした。